

静岡県立大学・短期大学部の学生と教職員の皆さま

へ

静岡県立大学法人理事長の尾池和夫です。2020年度（令和2年度）の初めに当たっての所信を述べさせていただきます。

現在、世界各地で感染症の大きな影響があります。この3月と4月、本学においても卒業式及び入学式では、全体の式典は中止し、様々な工夫をせざるを得ないこととなりました。今後とも世界の状況を見極めながら、大学運営に当たって毎日の緊張と工夫が必要です。新年度の授業開始の延期に伴う授業計画の変更など、教職員の多大の御努力によって、教育の質を保つ工夫が行われています。今後しばらくはこのような状況が続くと予想されますが、心身の健康に十分留意しつつ、御協力いただくようお願いいたします。

静岡県立大学法人は、2007年度（平成19年度）に静岡県から法人化し、以降、環境生命科学科の設置や看護学部の拡充、短期大学部の学科編成、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」の取組、「しずおか学」の新設、2019年度（令和元年度）からは経営情報学部の「観光学」の新設など、大学の教育研究機能の充実を進めつつ、地域に立脚した大学としての着実な歩みを進めてまいりました。

これはひとえに、学長をはじめ教職員皆さまの教育、研究、業務への熱意とその御労苦のたまものと、深く敬意を表します。学生の皆さんには、このような大学、短期大学部の優れた学習環境を大いに活用して、くれぐれも心身の健康に努めながら、学習に課外活動にまた社会貢献に活躍し、楽しく過ごしてほしいと願っています。

さて、私は、2018年（平成30年）4月に理事長に就任し、2年経ったところです。法人の経営を預かる立場として、今までに、各部局の状況をそれぞれの方法で御報告いただき、必要に応じて学内を視察し、また自分でも数回の講義を実施して、学生さん達と接する機会を設けてきました。

そして、大学からの情報発信を重視し、教職員の御協力の下に、例えば静岡新聞社と連携して、現在原則として毎週月曜日の朝刊に「静岡県立大発 まんが しずおかのDNA」というシリーズを連載しています。この3月23日月曜日にはその第15回「防災バッグ、何を詰める？」が載りました。これは食品栄養環境科学研究所の小林裕和教授の御努力によって実現したもので、世界の状況から感染症に関連する記事も追加していくことになっています。

また、食品栄養環境科学研究所・食品栄養科学部特任教授で、食品栄養環境科学研究所附属茶学総合研究センター長の中村順行さんの御指導と御努力の下に、教職員のプ

プロジェクトチームが、学食で本物の様々なお茶を味わっていただけるよう、特設のコーナーが設けられました。これは役員会での外部委員からの御提案で、せっかく静岡県で学ぶ学生さん達にお茶の味を知ってほしいという趣旨によるプロジェクトです。皆さま方の御協力と御参加によって、更に発展した形にしたいとチームの皆さんが張り切っています。

新聞では導入の漫画を、お茶のコーナーでは漫画と中村先生の解説の入ったカードを、いずれも京都造形芸術大学卒業生の漫画家、加藤ひなさんの軽妙なタッチで入れてあります。静岡新聞の連載はまだまだ続きます。下記で掲載済みの記事もお読みください。

<https://www.at->

[s.com/sp/news/featured/culture_life/kenritsudai_column/index.html](https://www.at-s.com/sp/news/featured/culture_life/kenritsudai_column/index.html)

これらの様々なことから得られた知見や現場からの皆さんの御意見を基に、私は今後の法人運営の方針を考えてきました。今回、私の目指すところを皆さまにお伝えし、併せて、皆さまにも御協力を改めてお願いするものであります。

1. コンプライアンスの徹底について

法人では、法人化以降、暴力行為やハラスメント、不適正経理など、様々なコンプライアンスに反する行為が、残念ながら発生しました。その都度、適切に対応してきたと思っておりますが、今後ともコンプライアンスの徹底を図っていく所存です。

教職員の皆さんは、その職務において、法令を遵守することは当然のことですが、職場に限らず、社会生活においても社会のルールに則った行動をとることが基本です。法令や社会のルールを逸脱する行動は、学生やその保護者、県民、その他関係者から厳しく非難され、法人全体、大学全体、教職員全体、あるいは法人の経営方針への不信感につながります。

当然ながら、コンプライアンスに反する行為者に対しては、精度を高めて事実関係を調査の上、就業規則に基づき、厳重な処分を行います。

2. ハラスメントを生まない、風通しの良い職場（学びの場）づくりについて

ハラスメントが与える影響は深刻です。ハラスメントを受けることにより、人格や尊厳を傷つけられたり、仕事や学習への意欲や自信をなくしたり、心の健康の悪化につながり、場合によっては、休職あるいは休学や退職あるいは退学に追い込まれたり、生きる希望を失うことさえあり、貴重な人材の損失につながります。

教職員が自由に提案し、中身の議論をして、学生や地域社会のためになることを皆で築き上げていける職場あるいは学びの場を作りたいと考えています。

ハラスメントを受けたと認識した時点で、様々な形で用意されている方法により、正確な情報をお知らせいただきたいと願っています。訴えを受け止めるための制度の更なる整備にも努力します。制度に対する御意見もお待ちしています。御意見や訴えがうまく伝わらないと思われたら、直接理事長の私に連絡してください。

ハラスメントの行為者に対しては、事実関係を調査の上、就業規則に基づき、厳重な処分を行います。その他、行為者の異動等、被害者の就業あるいは就学環境を改善するために必要な措置を講じます。

3. 健全な法人経営とガバナンス改革について

健全な法人経営を確保するため、財政や経営の実態を正確に認識し把握し、不健全性が認められた場合には、速やかに適切な改善対策を講じます。

また、学生、地域のニーズに沿った質の高い大学教育を行うため、理事長及び学長のリーダーシップを確立するため、組織の改編など、環境整備や評価に基づく資源の再配分などを行います。どの機関が意思決定に最終的な責任を負うのかを再確認し、権限の重複の排除や審議手続の簡素化などを通じ、本法人に合う最適なガバナンスを構築します。

健全な経営を進めるに際し、いわゆるセクショナリズムは、組織全体に与える影響が大きく、不利益をもたらすことになりかねません。特に幹部職員には、セクショナリズムに陥ることなく、常に全体を見渡しながらか最適な内容を考えて行動されることを望みます。

これらのことの根底には、大学や短期大学部において行われる活動は、どのような場合にあっても、学生のために行われなければならない、ということが私の基本方針です。

4. 地域と共に成長、発展する大学をめざすことについて

地域の課題の解決のためには、産学官が協働して取り組んでいく必要があります。持続可能な地域づくりや地域で活躍する人材の育成には、地（知）の拠点としての大学が担う役割は非常に大きく、社会貢献の機能は大学の評価基準の一つとして注目されています。大学には、これまで以上に、更に、地域と密接に関わり、連携することが求められています。

地域に受け継がれてきた力を再評価し、地方の活力を高める方策や仕組みづくりを進め、地域の魅力、課題を理解し、地域文化や地域社会の継承に資する人材の養成を推進します。

また、グローバル化の波の中で、異なる文化や多様な価値観を身につけることは、世界での活躍だけでなく地域への還元にも繋がります。こうした幅広い視野と行動を併せ持った人材を育成していくために、留学生の受け入れを推進していくことに加え、教職員にも海外で見聞を広げる経験を、学生の皆さんには積極的に留学経験を持つよう奨めます。

5. 生涯にわたる学びの場の提供について

人が、長期的に働くためには、自らがキャリアプランを作り、能力や考えが時代遅れにならないようにしなければなりません。定年延長や人生100年時代といった超長寿社会に向う中で、人がどのように活力をもって時代を生き抜いていくかを考えるための学びの場として、リカレント教育の提供が必要であります。

真の生涯学習のニーズに応えることができるように、学びたいと願っている全ての人を受け入れる制度を持つ大学でありたいと考えています。

6. 広報内容の充実と外部資金の活用について

大学で行われている教育、研究、社会貢献の具体的な内容を、組織的にあるいは個人的な努力で、分かりやすく県民の皆さまや世界に知っていただく工夫が重要です。そのような活動の結果として、寄附委員会を中心に、その機能の充実を図りつつ、大学への外部資金の導入機会を積極的に増やしていく努力を進めてまいります。

教員の皆さんの御努力で科学研究費が増加してきました。更なる御努力の継続をお願いするとともに、科学研究費以外の新しい資金源への申請も積極的に進めていただきたいと思います。

最後に、私は、皆さまの先頭に立って努力する所存です。そして、皆さまとともに、これから、ますます発展する本法人の運営を行っていきたいと思っています。これからも引き続き、法人の全員で頑張っていきましょう。学生の皆さんは学生生活を大いに楽しんでいきましょう。

皆さま、今後ともよろしくお願ひいたします。
お読みいただき、ありがとうございました。

2020年4月1日

静岡県公立大学法人理事長 尾池和夫